

【高知県施設園芸農業の飛躍的發展】

IoPクラウドの構築、活用、普及等の進捗状況

高知県 農業イノベーション推進課／IoP推進機構
松島 弘敏

- 構築、改修の進捗、現状について
- 出荷データの提供同意の状況について
- データ駆動型農業（BIシステム活用等）の状況について

4月1日～：SAWACHI（IoTクラウドの農家向けウェブサービス）運用テストの開始

4月、5月：システム、データ接続等にかかるバグの修正

5月、6月前半：フィールドテスト（ユーザビリティテスト）の実施

6月後半～7月末：UIUXの改善

7月～8月：SAWACHI利用アンケートの回収、分析

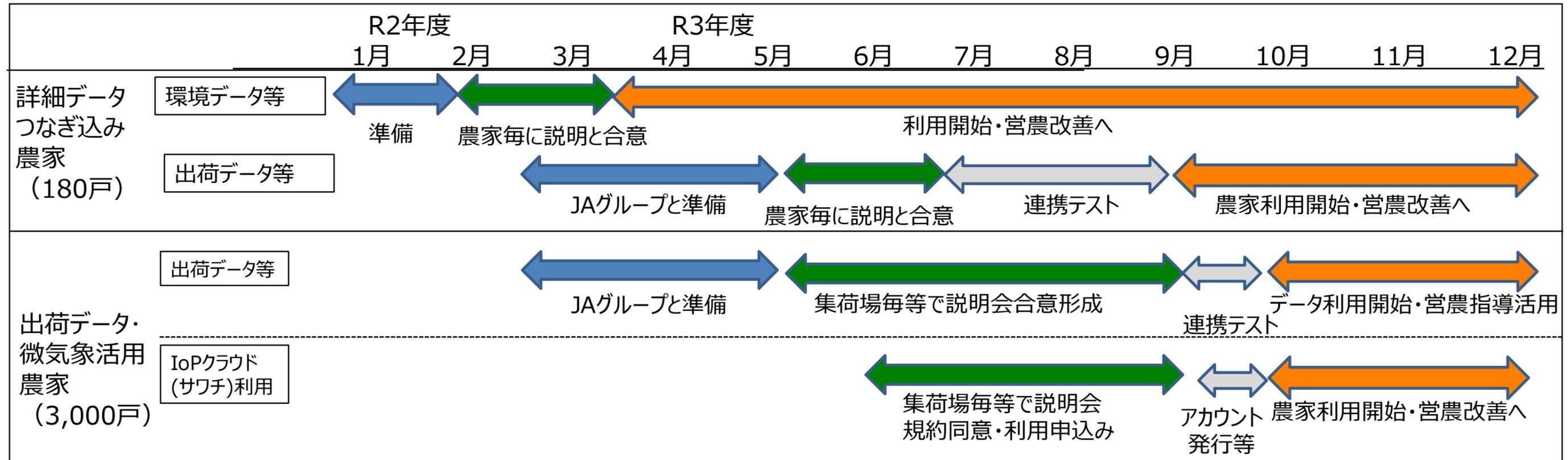
UIUX改善方針

- A：日々の作業中または作業間でのスマホ利用を想定し、基本的に必要となる情報は全てトップ画面上で素早く確認できるように
- B：知りたい情報に最短でアクセスできるよう、トップ画面以降の遷移をできるだけ分かりやすく
- C：サワチ理解の促進、自己解決率向上のため、各種マニュアルを整備
- D：各農家さん毎の利用、希望、状態等に応じて、可能な限りカスタマイズできるように
- E：できるだけ多くの年代の農家さんにご利用いただけるよう、色調、サイズ感などを工夫し、見やすく

実際の改善内容

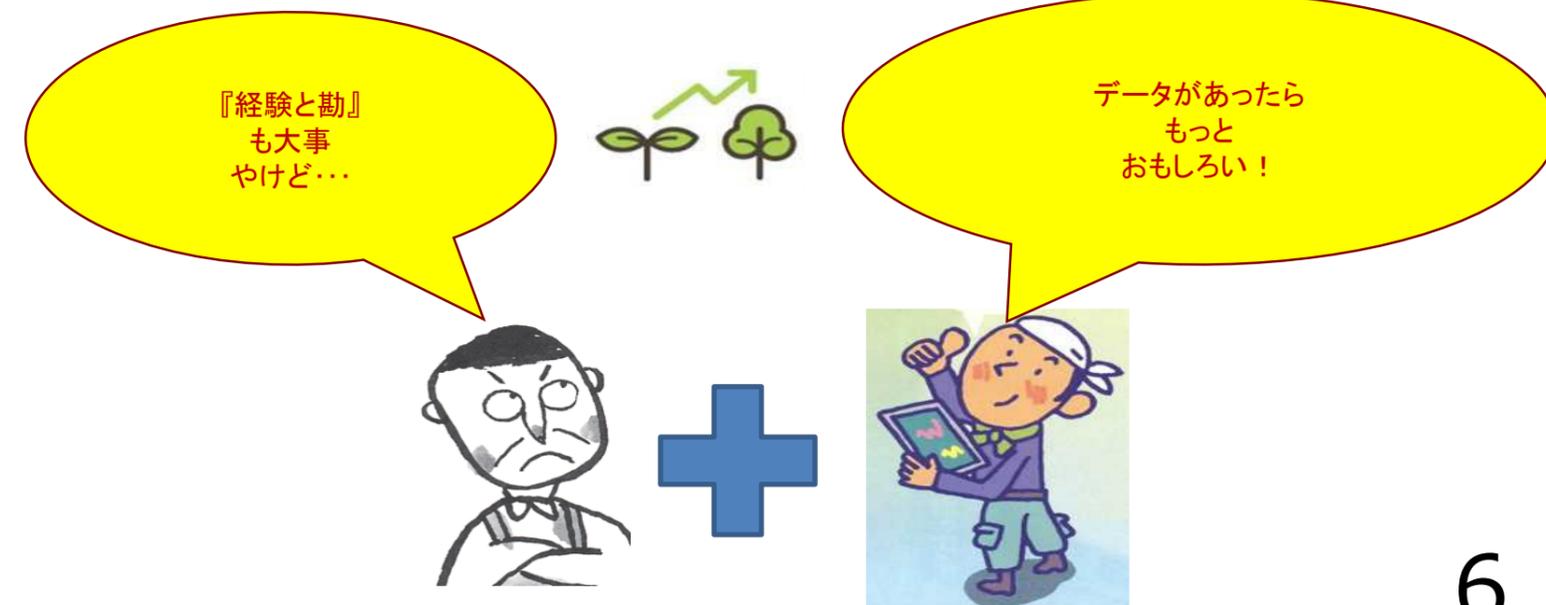
A	トップ画面：気象予測に4日先までの気象予測を表示、また時間軸を横にスライド操作可能にした
A	トップ画面等：表示速度を飛躍的に改善した。
A、B	トップ画面：グラフパネルを追加
B	全体メニュー：メイン機能とその他機能の表示を差別化し、全体的にメリハリをきかせて見やすくした。またアイコンをより直感的に分かりやすいものに差し替えた。また各機能内での遷移をよりシンプルにした。
C	マニュアル：これまでのお問い合わせ内容、日々の利用と点検、ユーザーが多い出荷量機能などに対しマニュアルを整備。またサワチの主要画面を一覧化したサイトマップも整備
D	トップ画面：「パネル表示設定」でトップ画面の各パネルを好きに並び替えられるようにした。
E	全体：色調の統一、文字の拡大（必ず一定以上のサイズにする）など

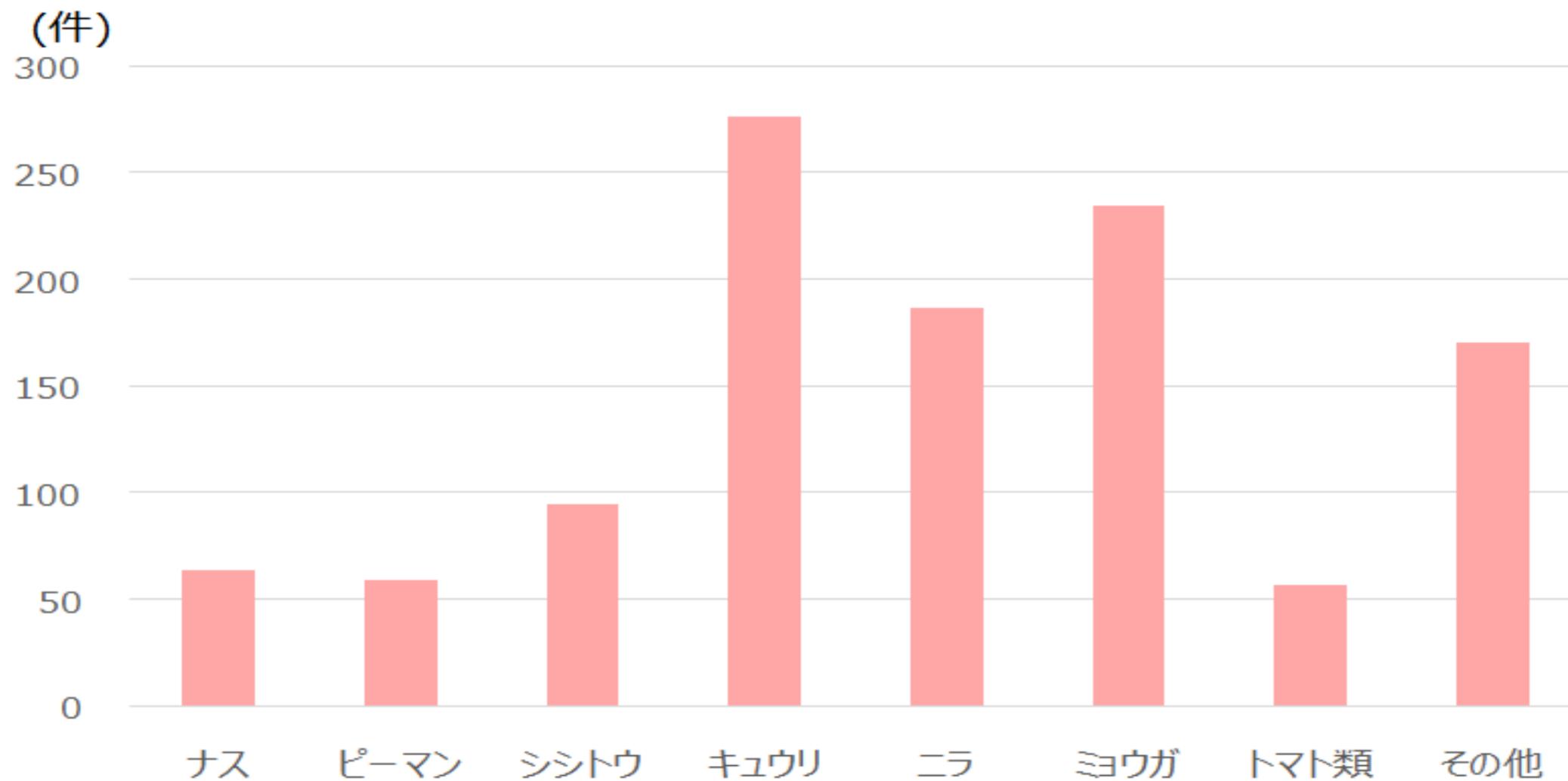
JAと連携して、個々の農家から出荷データ提供同意書を収集



SAWACHI出荷データ実装ワーキンググループ

- (目的) SAWACHIの同意済みユーザーの拡大
- (メンバー) 県農業イノベーション推進課、JA高知県、JA土佐くろしお、JA高知市、JA電算センター（オブザーバー）
- (実施事項) ToDo、体制と役割、戦略と方法などの検討
本人同意取得へのアクション
- (開催時期) 令和3年3月～令和3年9月
- (目標) 令和3年9月までに同意済みユーザー3,000人

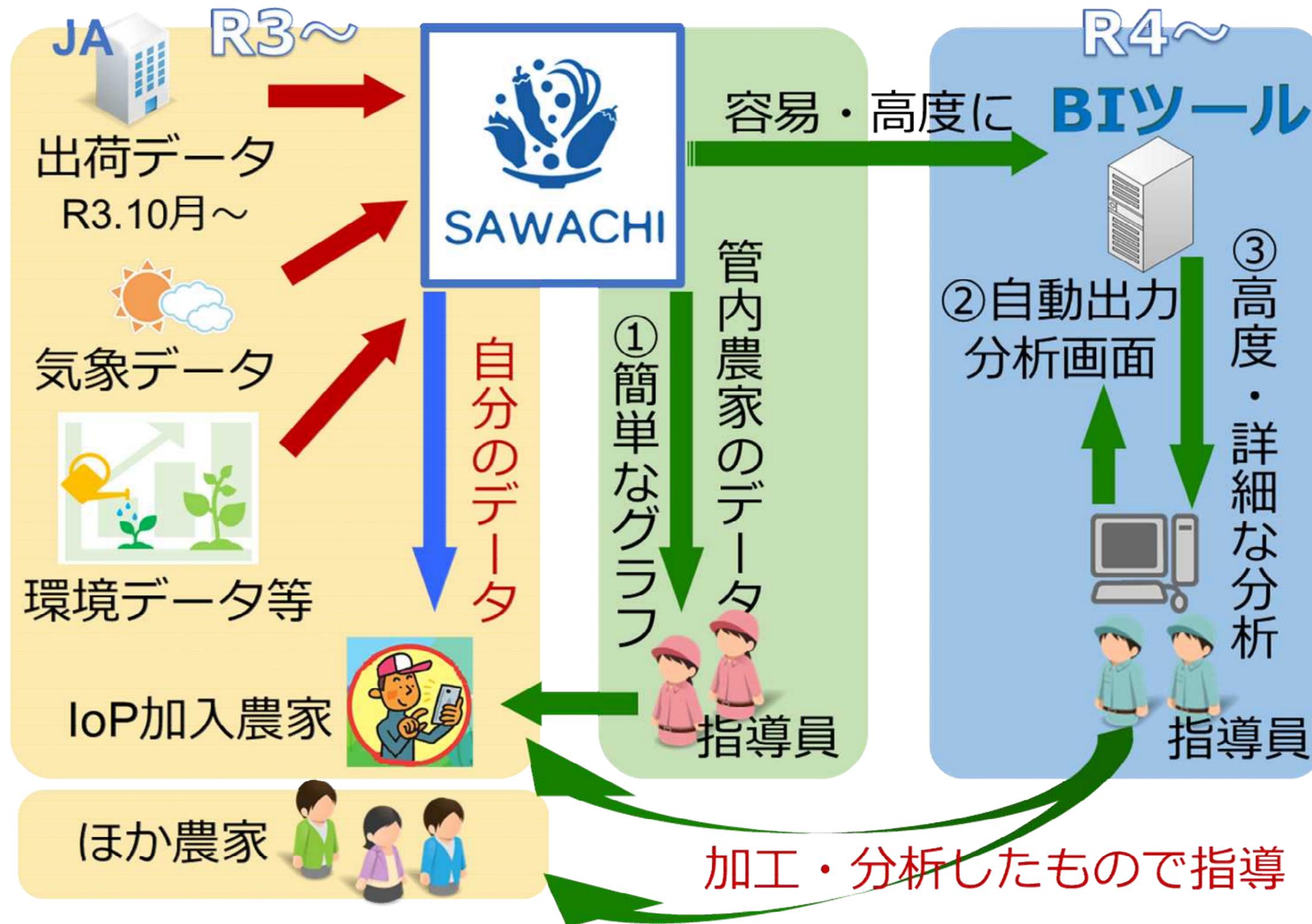




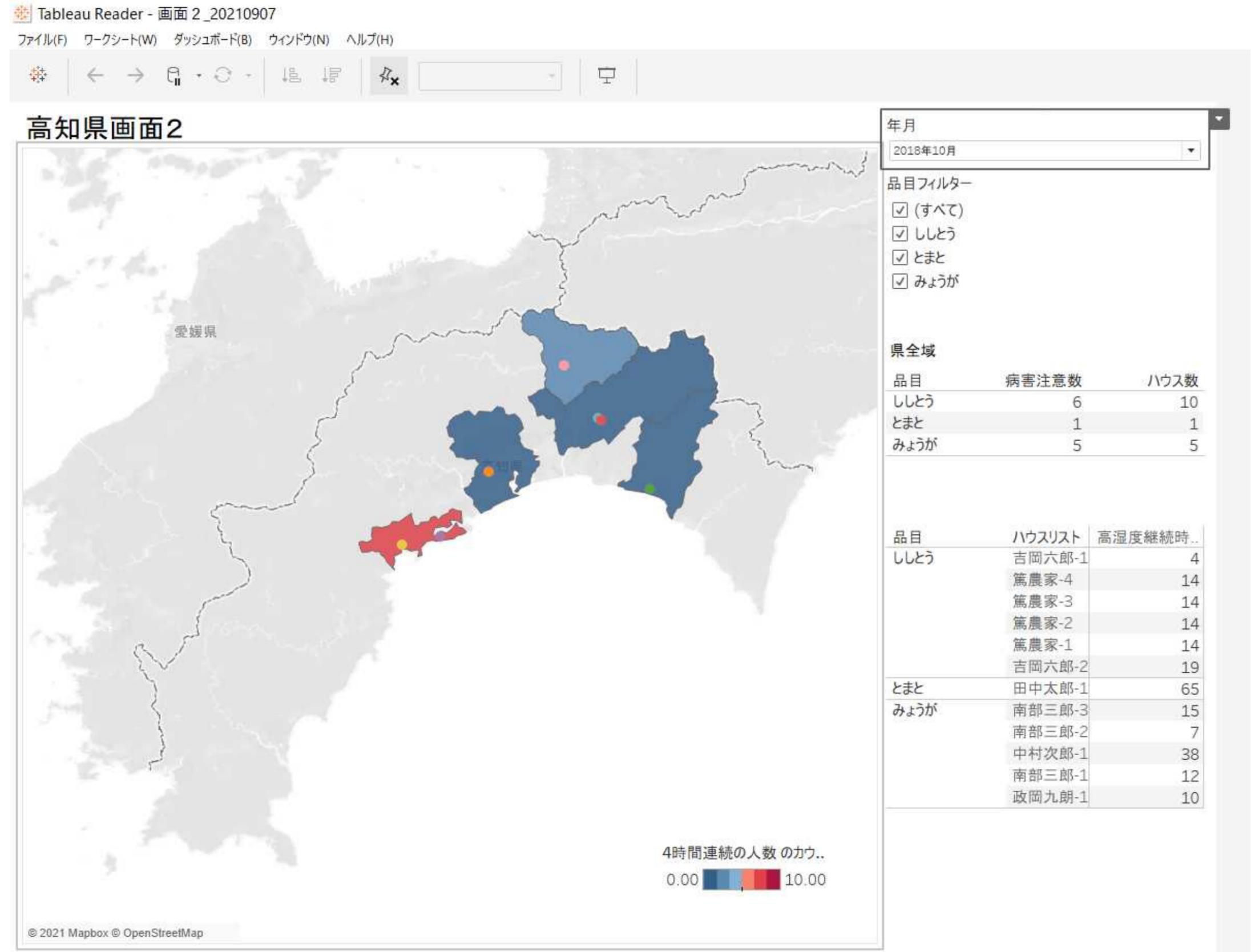
(令和3年9月14日時点)

- ・同意書の収集数は、農家戸数単位で1,106戸、品目延べ数では1,137件。
- ・7月以降に農業イノベーション推進課で地区説明会を30回計画していたが、8/23以降の9回はコロナの影響により開催中止。
- ・現在も、農業振興センター、JAの戸別訪問などで収集を継続中。

同意書：資料1-3参照

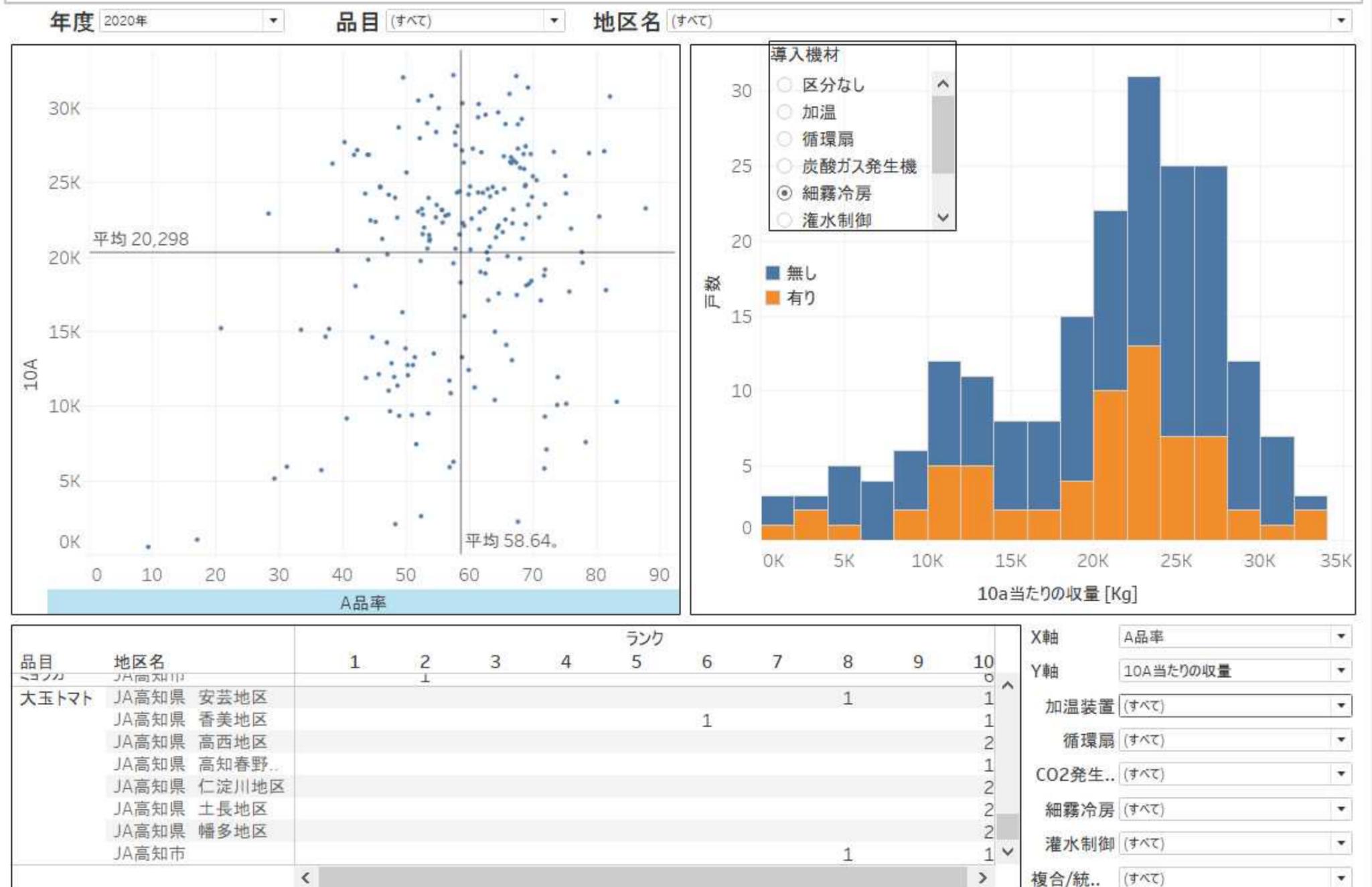


タブローリーダーにて実際の画面を共有



タブローリーダーにて実際の画面を共有

画面3



体制づくり 「高知県データ駆動型農業推進協議会」

R3年5月11日設立

「データ駆動型農業」の展開支援のための組織

